

おもて

脳トレ まちがい探しクイズ

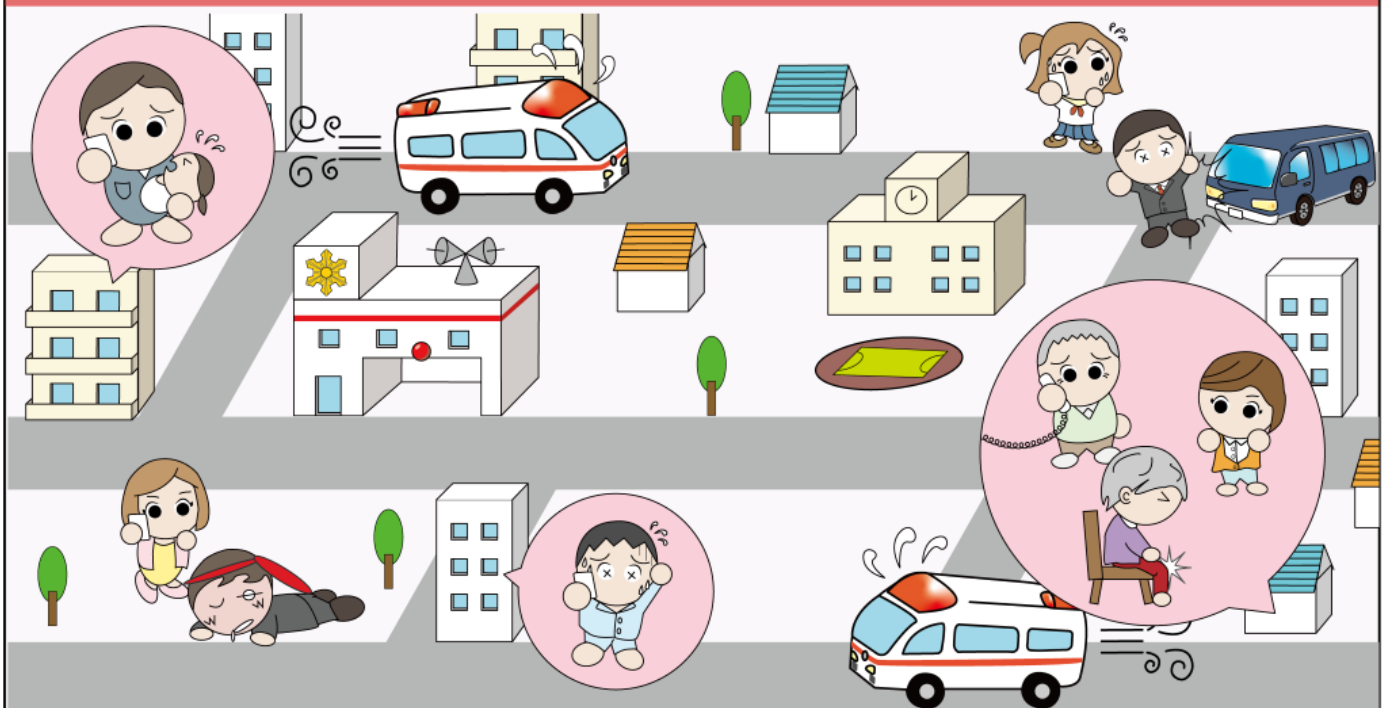


上と下でまちがいが10個あります。答えは裏面に！

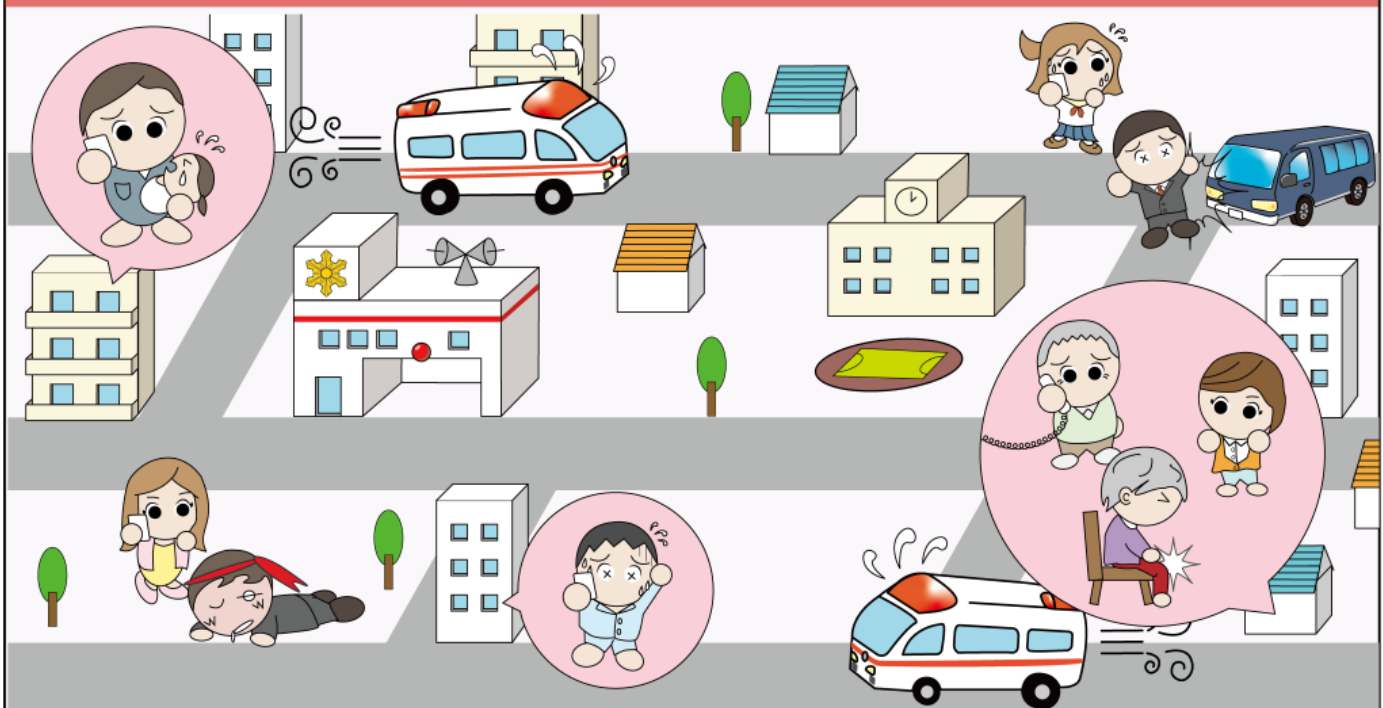
救急出場件数は1日約 2,500 件（令和4年中）。年々、増え続けています。

救急出場が増えると、遠くから駆け付けられることが増え救急車の到着が遅れる恐れがあります。

救急車には限りがあります。『救急車は必要な時に必要な方へ』適時・適切な利用を！

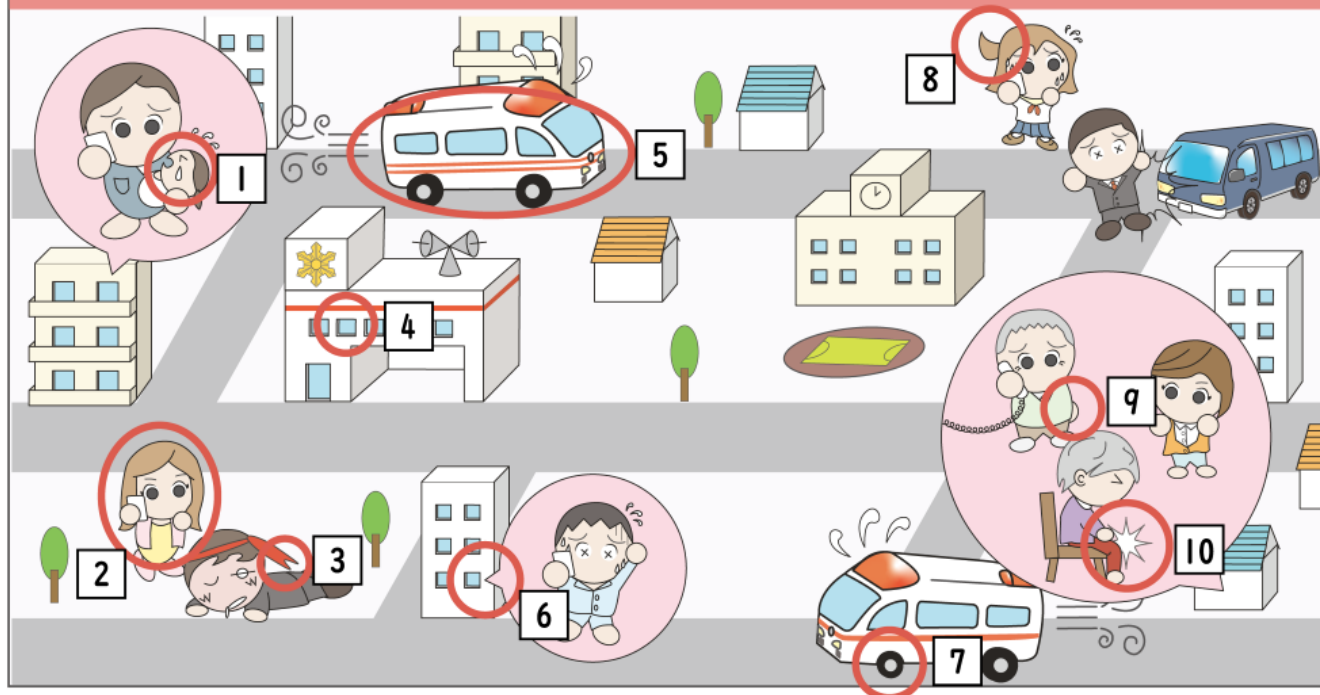


救急車には限りがあります。『救急車は必要な時に必要な方へ』適時・適切な利用を！



まちがい探しクイズ・答え

救急車には限りがあります。『救急車は必要な時に必要な方へ』適時・適切な利用を！



救急車ひっ迫アラート ～救急出場の増加をお知らせします～

令和4年中、都内の救急出場件数は過去最多の約87万件でした。令和5年中はそれを上回るペースで増えています。東京消防庁では、救急出場が特に増加した場合、ホームページやSNSで「救急車ひっ迫アラート」を発表し、救急車のひっ迫状況をお知らせしています。

『救急車ひっ迫アラート』発表時のように、救急出場が増加した際は、現場から遠い救急車が駆け付けることが増え、救急車の到着が遅れる恐れがあります。いつも以上に、体調管理に注意をお願いします。



救急車ひっ迫アラートロゴ

みんなで通報するとつながりにくくなります

救急車を呼ぶときは、1つの電話でお願いします。

1つのけが・病気の通報を複数の電話で行うと、回線が混みあってしまい、受付の確認作業に時間がかかってしまいます。

急なけがや体調不良など、救急車を呼ぶか病院へ行くか迷ったら



電話で相談

東京消防庁救急相談センター

こちらからもつながります

03-3212-2323 または 042-521-2323

#7119

相談医療チームに症状を話すだけで、救急車の必要性を判断してもらえます。救急車が不要な場合は、受診可能な医療機関の案内が受けられます。



ネットでガイド

東京版 救急受診ガイド
東京消防庁ホームページや
公式アプリから利用できます

ホームページ



公式アプリ



インターネットで、病気やけがの緊急度、医療機関での受診の必要性、受診する科目などを、いつでも自分のペースで確認できます。